

# 幼 児 の 教 育

昭和三十三年三月

## 保 育 修 了 の 月

保育修了の月である。お互の幼稚園から、幾十人かづゝの、可愛い、子ども達が、修了式の祝ひを受けて、幼稚園から出てゆく。その子ども達の健康、性情、知性に輝く顔の、なんさいふ末たのもしきこゝであらう。幼稚園関係者にまつて、最も喜ばしい月である。

しかも、その喜ばしさの中にも、ふさ、かすかにかげろふ思ひは、此のよき幸福をうけない子ども達の多いこゝである。日本の子どもの中に、その数の方がずつと多いこゝである。若し此の月が、全日本の幼児にゆきわたる保育修了の月であつたら、それは、みんなに更に廣い喜びであらう。みんなに更に大きい喜びであらう。

但しこれは、密に胸の中を通り過ぎる雲の影である。三月の日は、今修了してゆく幼児達の上に、一ぱいの明るさに、照々たる榮光を祝福を贈つてゐる。